

取扱説明書・製品保証書



XHP3537W H4型 HYPER LEDヘッドライトキット

対応車種：H4バルブ車汎用（プラスコモン・交流点灯車不可）

ご購入時は保証規定をご確認・ご同意の上ご購入ください。
本書が無き場合は保証が受けられません。必ず保管してください。

必ずお読みください。

この度は、LED RIBBONをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよく読みご理解の上、お取り扱いください。

尚、本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管し、ご活用ください。

取り付けはプロショップにて

本製品はヘッドライトシステムです。公道を走行する上での保安部品となるため、ヘッドライトの整備、取付作業等には専門的な知識が必要となります。本製品の取付作業については整備資格のある専門のバイクショップ様、または販売店様へのご依頼をお願いいたします。※取付販売店様へ：本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

SYGN HOUSE

お客様の正常な使用状態で、万一お買い上げ1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合、製品の無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。お買い上げ年月日未記入、販売店の押印のなき場合及びインターネットオークションにてご購入された場合は、保証期間内であっても有償とさせていただきます。

保証規定

- 本製品の保証期間は購入日から1年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。
- 本保証は日本国内のみ有効です。
- 下記の場合の故障につきましては保証期間内であっても保証の対象外となります。
 - ・ 不適当な取り扱いや配線の接続、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ 火災、その他の天災地変、異常電圧、指定外の電源等、過失または事故による故障および損傷。
- 保証書の提示のなき場合、本保証書の未記入あるいは字句を書き換えられた場合・販売店の押印のなき場合。
- 本保証は製品の修理、交換にのみ適用となります。無償修理に伴い発生する付帯費用（立会い等に伴う交通費、取付・取り外し等の工賃、その他諸経費）および不点灯によって発生した直接、間接の損害等の全てについては、保証の対象外となります。

SAMPLE

SYGN HOUSE

株式会社 サイン・ハウス
神奈川県川崎市中原区中丸子13-2
野村不動産武蔵小杉ビル11F



sygnhouse.jp

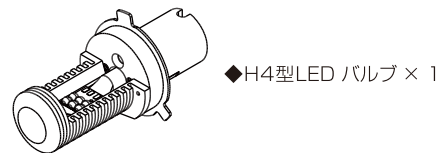
22.12

キット内容

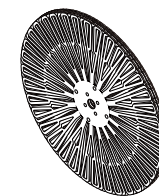
作業の前にキット内容をご確認ください。※各パーツは改良のため予告無く変更される場合があります。



◆H4用LEDコントローラー × 1



◆H4型LEDバルブ × 1



◆フレキシブルヒートシンク × 1



◆ヒートリボン固定用ネジ × 4



◆タイラップ中 × 5



◆スポンジ両面シート × 2

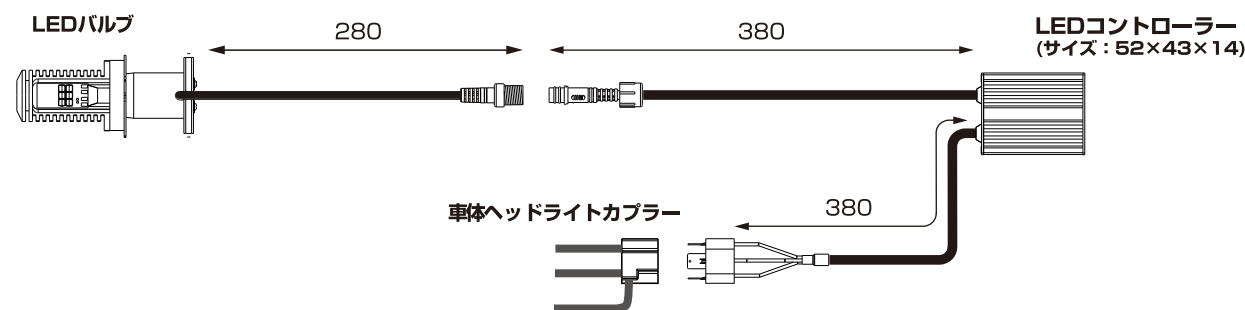


◆伝熱シリコングリス × 1 (HEATSINK COMPOUNDS)



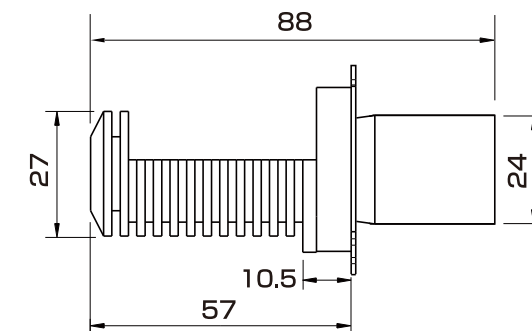
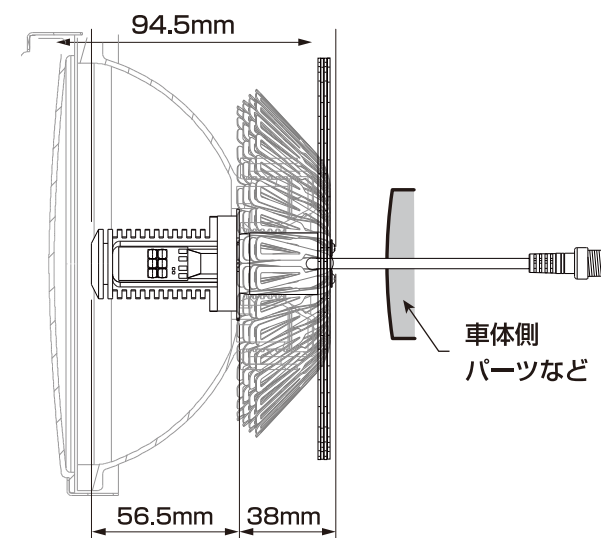
◆取扱説明書兼保証書 × 1

配線図



取付前の準備

XHP-3537W H4型 HYPER 取付部クリアランス ※バルブ取付部クリアランス確認の目安にしてください。



◆シェード部寸法

CAUTION 取付注意点

- ◆ 指定以外の配線類の変更は行わないでください。
- ◆ 取扱説明書およびサービスマニュアルに従って作業を行ってください。
- ◆ 作業は、メインスイッチをオフにし、バッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
- ◆ 作業は、平坦な場所で十分なスペースを確保して行ってください。
- ◆ 濡れた手やオイルの付いた手で作業は行わないでください。
- ◆ 配線の接続は確実に行ってください。
- ◆ 作業終了後、配線の最終確認を行ってから動作確認を行ってください。
- ◆ 盗難防止装置などを装着している場合は、電装系の取り扱いにご注意ください。

WARNING 警告

- ⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると生命に危険、または重大な障害につながる恐れがある内容を表示しています。

安全上のご注意

WARNING 警告

- ⊘ ◆ 点灯中にヘッドライト灯具への組付けは行わないでください。感電や故障の原因となります。
- ⊘ ◆ 本製品を分解及び改造して使用しないでください。発火、発煙の原因となります。
- ⊘ ◆ 紙や布で覆ったり、燃えやすい物の近くで点灯しないでください。火災や灯具過熱の原因となります。
- ⊘ ◆ ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど引火する可能性のある物の近くで点灯しないでください。爆発や火災の原因となります。
- ⊘ ◆ 点灯時はバルブを直視しないでください。視力障害の原因となります。
- ⊘ ◆ 本製品は精密機械です。落下させたり配線に無理な力をかけないでください。故障や感電の原因となります。
- ⊘ ◆ 本製品の取り付けには高度な専門知識を必要とします。専門のバイクショップ様、または販売店様に取り付けを依頼してください。

使用上のご注意

CAUTION 注意

- ⚠ ◆ バルブの落下や衝撃には十分に注意してください。

CAUTION 注意

- ⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると障害、または事故につながる恐れがある内容を表示しています。

CAUTION 注意

- ⊘ ◆ 本製品に損傷を発見した場合は、直ちに作業、使用を中止してください。感電の原因となります。
- ⚠ ◆ 本製品使用中に少しでも異常を感じた場合、お買い求めの販売店様までご連絡ください。
- ⚠ ◆ 走行前に必ず光軸調整を行ってください。
- ⚠ ◆ 誤った使用及び取り付け、改造しての使用、他社製品との併用などによる不具合は一切の責任を負いかねます。
- ⚠ ◆ 一部の車両では、保安基準に適合できない場合があります。
- ⚠ ◆ 点灯時および消灯直後に洗車などでバルブに直接水をかけないでください。温度差により、故障および破損の原因となります。

- ⊘ ◆ バルブの基板部分には触れないでください。破損や光度低下の原因となります。

- ⊘ ◆ 点灯時および消灯直後のバルブやヒートシンクは高温となっております。火傷の原因になりますので触れないでください。

ご購入されたバルブタイプと車両のバルブが合っているかご確認ください。

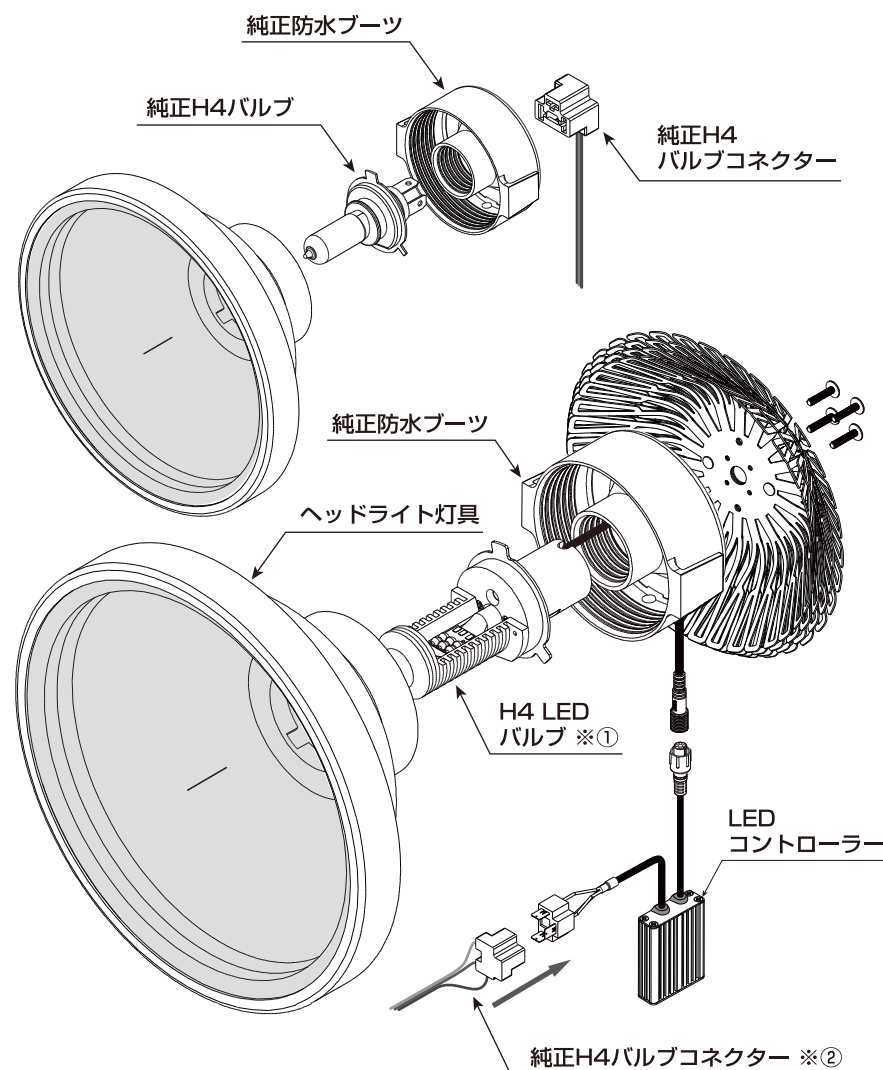
必要工具

車両の整備等に使用する基本工具、絶縁テープ、ニッパー

あると便利な工具

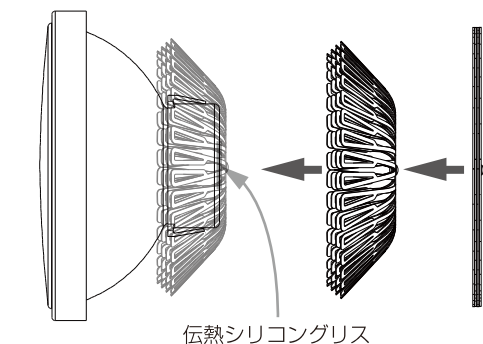
ノギス、テスター、など

取付方法



※イラストは組立イメージ図です。
配線の長さや形状、寸法等は実物とは異なります。

●重要



- LEDバルブとフレキシブルヒートシンクの接合面には、伝熱グリスを必ず塗布して下さい。
- 装着時の保持力を高めるため、上図のような形にして灯具に密着させるようして下さい。

●取付手順

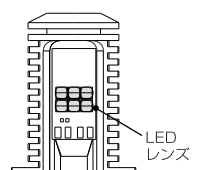
- ① 車体のヘッドライト灯具から、ノーマルバルブを取り外します。
- ② 車体のヘッドライト灯具に、LEDバルブを装着し灯具側の留め金で固定します。
- ③ 純正防水ブーツをヘッドライト灯具へ取り付けます。➡ 右項④-1の状態
- ④ LEDバルブとフレキシブルヒートシンクの接合面に付属の伝熱シリコングリスをできるだけ多めに塗布します。フレキシブルヒートシンクを付属のネジ4本で確実に固定し、フレキシブルヒートシンクをライト灯具に添わせるように曲げて行きます。フレキシブルヒートシンクがフレームなどに当たってしまう場合は、必要に応じて曲げたりカットしたりして下さい。(放熱面積が小さくなりますので、カットは最小限に留めてください) ➡ 右項④参照
- ⑤ LEDバルブとLEDコントローラー、続いてLEDコントローラーと純正バルブコネクターの順にコネクターを接続します。
- ⑥ 仮組みをして、点灯確認(Hi/Lo切替え)を行ってください。
- ⑦ LEDコントローラーを固定しLEDバルブを取付して、全ての装着作業を行ってください。➡ 右項⑦参照
- ⑧ 車体側で配光の高さ調整を行ってください。

⚠ CAUTION 取付注意点

- 本製品の配線は、無理な力で引っ張らないでください。
- 仮組み後、ハンドルを切り配線にテンションが掛かっていないか必ず確認してください。
- 配線がヒートリボンとヘッドライト灯具に挟まれないよう取付を行ってください。
- 点灯中にバルブの組付けは、絶対に行わないでください。
- 作業中にLEDのレンズ部は、触ったりして汚さないようにしてください。汚れた場合は綺麗な布で脱脂してください。汚れたまま使用すると、著しく性能が低下するおそれがあります。

⚠ CAUTION

※① LEDバルブ部の汚れ注意

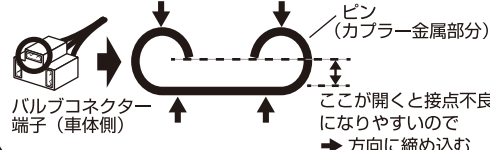


発光部のLEDレンズ部に触らないでください。オイルやゴミ等が付着したまま点灯するとレンズ部が焼け焦げる場合があります。

⚠ CAUTION

※② バルブコネクターの接点不良

バルブコネクター(メス端子)は、何度も抜き差しするうちに開いてきて接点不良を起こしやすくなり、接点不良のまま稼働し続けますと電流値の増加によるコネクターの溶けやコントローラーの損傷につながります。ピンの開き具合を確認して、プライヤーなどで締め込む必要があります。さらに接点グリスを付けるなどするとより効果的です。

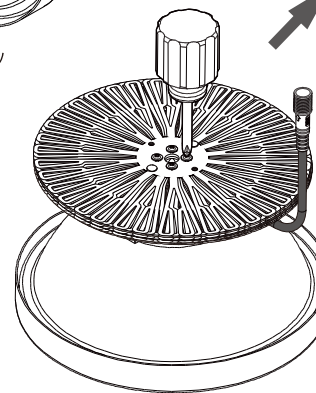


④フレキシブルヒートシンクの取り付け

1. 伝熱グリスをヒートシンクの接触面に塗り付けます。必ず付けてください!



2. 固定用ボルト4本でヒートシンクを取り付けます。(レンズが傷つかないように布などを下に敷きます)



3. フレキシブルヒートシンクを手で押さえながら防水ブーツや灯具にぴったり沿うように曲げていきます。
※曲げたい形になりにくい場合は、ネジ留めする前に曲げてからネジ留めてください。

4. 灯具のハウジングに入れてみて干渉しそうなところを曲げたりニッパー等でカットします。
※カットすると表面積が小さくなり放熱効率も下がりますので、最小限に留めてください。

3. フレキシブルヒートシンクを手で押さえながら防水ブーツや灯具にぴったり沿うように曲げていきます。
※曲げたい形になりにくい場合は、ネジ留めする前に曲げてからネジ留めてください。

⚠ CAUTION

※手をけがしないよう注意!

ヒートシンクの端面はバリなどが残っていて鋭い切り口になっている場合があります。またカットした場合も同様になりますので、作業する場合は必ずグローブなどをして手を保護し、けがしないようにしてください。

⑦ LEDコントローラーの取付

LEDコントローラーの設置位置を決める。

- ライトケースがあるネイキッドバイクは、ライトステーの裏側やタンク下のフレームとの隙間に設置し、スポンジ両面シートで貼り付け、タイラップで固定してください。
- ビキニカウル、アッパーカウル、フルカウルのバイクはカウル内の空きスペースに設置し、スポンジ両面シートを貼り付け、タイラップで固定してください。

- ☆ LEDコントローラーは精密機器ですので必ず固定が出来る場所に取り付けてください。(ビニタイや金属等の導電性のものは使用しないでください)
- ☆ LEDコントローラーは発熱しますので、密封したりスポンジシートを巻いたりして放熱を妨げないでください。(できる限り、放熱する場所へ設置してください)

⚠ CAUTION 取付注意

LEDコントローラーはバッテリーの上に置かないでください。プラス、マイナスが触れるとショートします。このような場合、初期には動作しても、使用を続けると破損に至る恐れがあります。蓄した熱を持つ箇所(マフラーに接する場所など)に取付しないでください。

本製品の仕様について

本製品は、保安基準に対応した性能を満たしていますが、以下の点を踏まえ取り付けおよびご使用下さい。

明るさ

点灯開始から最大4,500ルーメンの明るさで点灯します。ただし、温度調整機能により、LEDの発光部付近が加熱すると出力(すなわち明るさ)を下げて発熱を制御します。温度に連動して出力が上下し明るさも常に変化しますが、出力が低い場合LEDの発光効率は高くなる特性のため、体感できる程の急激な明るさ変化は少なくなっています。

温度調整機能

本製品は、LEDで発生した熱を、メイン構造であるヒートパイプでバルブ後部へ移動させ、フレキシブルヒートシンクによって自然放熱される仕組みとなっています。そのため、停車中など走行風がない状況の場合、走行時よりも冷却効率が低下します。冷却効率が下がると発光部の温度上昇に連動してコントローラー側で出力を下げて温度上昇を抑え、走行して冷却されると出力が上がり明るさも最大値に近づいて行きます。

冷却効率を上げるために・・・

フレキシブルヒートシンクは放熱の重要な役割を果たします。ヒートシンクは必ず取り付けで使用してください。また、ヒートシンクとバルブ本体との接合面には、付属の伝熱グリスを必ず使用してください。伝熱グリスを塗布せずに取付するとヒートシンクへの伝熱効率が悪くなり、最大限のパフォーマンス(明るさ)を発揮できなくなります。